



尚 綱

「^{にしき}錦を^ぎ衣て^{けい}綱を^{くわ}尚ふ」



尚綱大学短期大学部

総合生活学科
食物栄養学科
幼児教育学科

【建学の精神】

「智と徳を兼ね備え社会に貢献し得る女性の育成」

本学年は、明治21（1888）年に創設された済々黌附属女学校をその源としており、同校創設に際して創立者の佐々友房らが遺した「済々黌附属女学校創立ノ主旨」の中には、女子教育の必要性、女子教育の理念などについて縷々述べてあり、その中から建学の精神を表す箇所について要約したものです。

【教育理念】

「尚綱 表面を飾らず内面の充実に努める」

本学園は、校名である「尚綱」の二字に凝縮された言葉をもって教育の理念の姿とし、本学園の教育理念としています。「尚綱」とは、中国の古典『中庸』の一節、「衣錦尚綱」（錦を衣て綱を尚ふ）、すなわち、錦を来た場合はその上から薄物をかけ、きらびやかな模様を表に出さないようにするという君子の道のあり方を説いた句に由来しています。この句には、表面を飾らず内面の充実に努めるという、人としての心構え、あり方が含意されています。



会員の皆様へのご挨拶

尚綱大学短期大学部同窓会

会長 森下 ひろ子

熊本女子短期大学幼児教育科

昭和四十九年卒（第五回生）

桜の木もすっかり若葉の緑に染まりました。春風が気持ちいい今日この頃ですが、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと思います。いつも同窓会活動にはご協力いただき誠に有難うございます。

去年は私達の心に、いくつもの驚きや壮絶な事態を目の当たりにしました。コロナ、ロシアウクライナの侵攻、安部元首相銃撃、国葬等さまざまな出来事を通して人間とは何か？と考えさせられました。

思いもよらない衝撃を受け不安と戸惑いの中で、人間が本来もっている大切な判断力まで狂わせているように思います。

ですが、すべての人にある一本の輝く道は、金色に光り一人一人の将来に希望と期待が満ちあふれて、思ってもみない道が広がり、光輝いて平和と幸せが訪れることを祈っています。知恵の心を育みながら勇気をもつて未来に翔いていきましょう。

より良い未来を次の世代へ手渡していくのは仲間達との触れ合いを通して、「善く生きる」「美しく生きる」ことを基調としながら私達から後輩へと継承して個人の才能と努力を共有して、人との語らいを楽しみたいと思います。

建学の精神にある「智」と「徳」を兼ね備え継承された尚綱の存在と価値は互いに響き合い、「尚綱らしさ」を誇りとして、経

済や家庭それぞれの分野で躍進していかれることを願っています。先輩の願いを實踐し、会員の皆様が人間力を生かして社会に貢献していかれる姿に拍手を送りたいと思います。

同窓会の歴史も70周年を迎えようとしています。同窓生は約29,000名近い人数となり大変嬉しく思います。先輩の同窓生にはいつも後輩を愛しく思い見守り続けて下さって母校の学生が日々の勉学と社会活動のすばらしい活躍の行動力にはたのもしさを感じます。卒業年度は違っても尚綱で育まれた絆は素晴らしいものです。

感染症の症状も変化して、日常の生活もコロナ以前のように戻ってきています。制限していた活動も少しづつ再開されており、次第に会の目的を果たすことができますように、同窓会の会員様にご参加や共感していただける内容の活動を役員と共に進めていきたいと思えます。

会員の皆様には今後も学園、同窓会の夢ある発展の為に同窓生一人一人にご理解とご協力を頂き皆様と共に前進したいと考えております。今後も変わらずのご協力をお願いし、先輩の皆様方の築かれた伝統を守り後輩の方々とも手を取り合って、母校の発展に同窓生が一丸となっていこうではありませんか。

機会がありましたら、学生時代の思い出に花を咲かせて笑ったり、そしてお食事をしたり、ゆったりとした出会いの日が待ち遠しいですね。学生時代には学び舎で、校歌や音楽の時間にやさしく感情豊かに、歌をうたった思い出は忘れられません。

尚綱学園の益々の発展と、花さくら会の皆様のご健闘とご多幸を祈念してごあいさつと致します。

今後も皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



ご挨拶

学校法人尚綱学園

理事長 池 満 淵

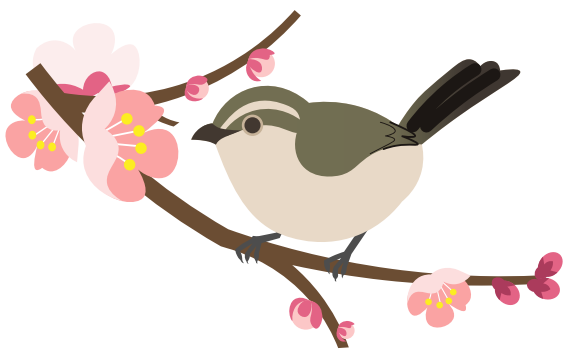
尚綱大学短期大学部同窓会の皆様には、かねて本学園に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が昨年末からまたもや急拡大に転じ、今年もウイズコロナの多難な日常を覚悟せざるを得なくなってきました。本学でも、コロナ禍の中で思うような学生生活、課外活動ができなくて悩む学生の心のケアと支援が課題となってきました。こうした状況を踏まえて、今年も授業形態については、インターネットを活用した遠隔授業の利点を取り入れつつも、対面授業を基本として臨んでまいりたいと考えています。また、各種学校行事につきましても、感染対策を講じた上で極力実施して行くこととしたいと考えています。

大学、短期大学部の施設、設備に関しましては、一昨年2月に九品寺キャンパス7号館が完成し、大学、短期大学部、中学・高校の共用施設として活用することにより、学生の利便性が向上しました。また、昨年8月の大学4号館第2調理実習室の改修工事により、食物栄養学科の調理実習の環境がかなり改善しました。今年4月に武蔵ヶ丘キャンパスの現代文化学部跡地に開設するこども教育学部の新装成った施設については、幼児教育学科も共用

施設として使用することとしています。なお、現在幼児教育学科が使用している施設については、老朽化がかなり進んでいますので、次年度以降できるだけ早い機会に改修工事に着手したいと考えています。

ところで、大学、短期大学部では、近年、18歳人口の減少、学生ニーズの多様化などの影響により、入学志願者数が低迷しており、2022年度は初めてすべての学部・学科で入学者が定員を下回ってしまいました。学生確保が本学にとつての喫緊の課題となっています。本学の一層の魅力アップ、広報の充実など、課題解決に向けて、教職員の力を結集して取り組んでまいり所存です。卒業生の皆様におかれましては、引き続きご協力、ご支援を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。





ご挨拶

尚綱大学・尚綱大学短期大学部

学長 山縣 ゆり子

尚綱大学短期大学部同窓会会員の皆様には日頃より本学の教育・研究に格別のご理解とご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。先頃には、短大・大学両同窓会からのご支援をいただき、尚綱食育研究センター主催のレシピコンテストのグランプリと優秀賞のレシピが学食で例年より安価で多数販売され、学生、教職員に喜ばれましたことをご報告させていただきます。ありがとうございます。

2020年初頭からのコロナ禍も3年余、感染対策をしつかりした上での授業は2022年度に入りほぼ通常に戻り、公開講座や海外協定校との交換留学も再開しましたが、尚綱祭については、2021年度はオンライン、2022年度は参加者を学内に限定しての実施とし、ホームカミングデーは中止といたしました。

2023年度にはコロナ禍も落ち着き、皆様と交流できることを楽しみにしています。

近年、18歳人口の減少や学生ニーズの多様化等の影響で、全国的に女子大や短大離れがみられ、本学も例外ではありません。本学では2013年度から10年間の「長期ビジョンと中長期計画」が2023年3月に終了しますので、引き続き「第2期中

長期計画」(2023～2032年度)において、選ばれる大学を教職協働で実現するため、目標とその評価指標を達成のための活動計画を策定し終え、それに基づく2023年度事業計画を作り実施する予定です。

2023年4月にはいよいよ4年制「こども教育学部」がスタートします。保育士資格のほか、幼稚園教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状が取得可能であり、特別な支援を要することも対する教育を身に付け、保育現場をリードする高い専門性と実践力を備えた人材を養成し、短期大学部幼児教育学科とともに地域社会の幼児教育・保育の発展に貢献する所存です。

大学のホームページには、後輩たちの学びの情報(総合生活学科では新しい資格ーリビングスタイルリストの取得とその中で優秀な成績をおさめた学生に奨励賞が授与されたこと。食物栄養学科では、2年生が受験した栄養士実力認定試験で、同学科の平均点が全国短大生のより5点近く(昨年は3点以上)高い結果が得られたこと。幼児教育学科では96%以上が幼児教育に関わる専門職に就く学生が学ぶ多様な授業内容など)を掲載し、日々更新しておりますので、ぜひご覧いただき、先輩としてご意見、励ましなどをいただければ幸いです。

最後になりましたが、尚綱大学短期大学部同窓会の益々の発展と会員の皆様のご健勝・ご多幸をお祈り申し上げます。

同窓会活動内容

2022年度

- 7月4日 定例会
議 題
1. 近況報告
2. 決算報告
3. 令和4年度の活動について
※コロナ禍により次回は科ごとに
会議をすることになりました



- 9月5日 家政科 会議

- 9月12日 幼教科 会議

- 10月3日 食物科 会議

- 10月15日 尚綱大学 公開講座に参加
「熊本の郷土料理」
「インフル予防と食事
～住み慣れた町で生き生き暮らすには～」



- 10月22日 尚綱大学 公開講座に参加
「くまモンのブランド戦略」
「未来を切り開く消費者の力
～持続可能な社会形成のために～」



- 11月7日 定例会
議 題
1. 近況報告
2. 会誌の編集について
3. 令和5年度の活動について
4. 会計より

- 1月16日 定例会
議 題
1. 各科報告事項について
2. 名簿作成について
3. 会誌の編集について
4. 会計より
5. その他



同窓会活動計画

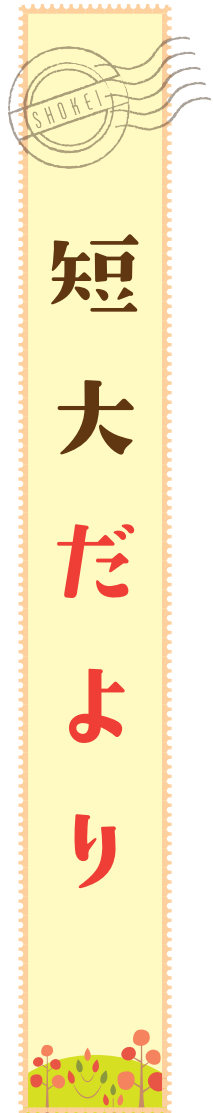
2023年度

【2023年度活動予定】

- 総会
- 公開講座
- ホームカミングデイ

ホームページを
ご覧ください。





九品寺キャンパス

事務部長 岡原 安利

尚綱大学・尚綱大学短期大学部九品寺キャンパスにおける令和4年の主な活動状況及び大学教職員の退職者についてご紹介いたします。

今年度は年明け早々、新型コロナウイルス感染症の第5波が到来し、感染が急拡大し2月3日に全国で初めて感染者が10万人を突破しました。

6月には感染状況はやや落ち着きを見せましたが、7月に再び、爆発的な感染が始まりました。

第7波の始まりであり、7月23日には全国で感染者20万人を突破し、その後も拡大し、8月19日には26万人を超えました。熊本県内でも多くの感染者が発生しましたが、本学においては参加者を制限するなどの策を講じながら卒業式や入学式をはじめ主なイベントは対面で開催することができました。このように今年度は昨年ほど、コロナの影響を受けず、授業もほとんどが対面にて開催することができた1年でした。

以下、今年度の活動状況を振り返ってみたいと思います。

◎活動状況

●尚綱食育推進シンポジウム開催

1月9日(日)、第3回尚綱食育推進シンポジウムを九品寺キャンパス大学1号館10階ホールにおいて「食物アレルギー対応と食育くみんが楽しめる給食を目指して」をテーマに開催しました。今回は、新型コロナウイルス対応のため、対面とオンラインにより行い、保育関係者、給食関係者、学校関係者、行政関係者等多数の皆様にご参加いただきました。

●就職セミナー「模擬面接講座」

開講 2月18日から3月11日まで計6回にわたり、就職課による2023年3月卒業生を対象とした「模擬面接講座」を開講しました。熊本ヤングハローワークから外部講師を招き3月から本格化する就職活動に向けて準備を開始しました。

●令和3年度

「春季キャリアガイダンス」開催について

例年対面形式で、企業研究会をはじめ講演形式・実践形式で春と夏に開催しています。今年

度3月開催の春季キャリアガイダンスは、コロナ感染防止を考慮し、オンラインによる「合同会社説明会」を3月17日(木)・18日(金)、「面接・マナー・メイクアップ」などの講座を3月22日(火)から1週間程度配信により実施しました。

●令和3年度尚綱大学・尚綱大学短期大学部卒業式及びオリエンテーション ションについて

3月16日(水)に熊本県立劇場演劇ホールにて出席者を卒業生及び学校関係者に制限し、時間を短縮し、感染防止対策を徹底したうえで挙行しました。その後九品寺キャンパスにおいて、学部・学科毎に分散し、オリエンテーションを実施しました。当日ご参加できなかった保護者の皆様にとっては残念であったと推察されます。

●春のオープンキャンパス開催

九品寺キャンパス、武蔵ヶ丘キャンパスに分かれてオープンキャンパスを開催しました。コロナウイルス対策のため、事前予約制とし、当日は学科説明や体験授業、キャンパスツアーなどに多くの高校生やその保護者の方々等に参加していただきました。

●くまモンの研究成果を 知事に報告

熊本県との連携協定に基づき進めてきたくまモンに関するアーカイブの資料収集及び研究成果を3月25日(金)、熊本県庁に出向き、蒲島知事とくまモンに報告しました。

●令和4年度尚綱大学・尚綱大学短期大学部入学式及びオリエンテーションについて

4月5日(火)、尚綱大学・尚綱大学短期大学部の入学式を挙行了しました。今回は、参加者を新生入生及び教職員に制限し、尚綱アリーナにおいて実施しました。大学108名、大学編入生7名、短期大学部生258名が新たなスタートを切りました。

翌6日(水)・7日(木)は学部学科ごとにオリエンテーションを実施し、授業の履修登録や資格取得などの説明等が行われました。

●令和4年度授業について

4月8日(金)より、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じたうえで、原則対面による授業が始まりました。

●学生会主催による

新入生歓迎行事について

4月22日(金)、九品寺キャンパスでは、コ

ロナ対策を考慮して、昨年度に続き、学内スタンプラリー及びフォトコンテストを実施しました。新入生と在学生とも交流の輪が広がりました。

●オープンキャンパスについて

5月22日(日)・6月19日(日)・7月24日(日)・31日(日)にオープンキャンパスを実施しました。

当日は、学部学科による学部学科説明、キャンパス見学、入試説明、個別相談等を実施しました。また、現代文化学部では、昨年度に続き、本物のくまモンが参加してのイベントも行われ、大変な賑わいでした。さらに、同学部では7月31日に「尚綱ビブリオバトル2022」を開催しました。

●尚綱食育研究センターによる

「尚綱食育の日々お魚の日々」を 開催

6月17日(金)、食育活動の一環として、九品寺キャンパスにおいて天草地区漁業士会の協力のもと、「尚綱食育の日々お魚の日々」を開催しました。天草産の魚介類を使用した郷土料理の学食メニューとして「鯛めし」「アオサ汁」「がね揚げ」の定食を50食限定で提供し、則ち完売しました。

●尚綱食育研究センターによる

「郷土料理教室」を開催

7月2日(土)、食や郷土料理の伝承への関心を高め、地域食文化への理解を深めることを目的に開催しました。今回のテーマは天草地域の郷土料理とし、天草地区漁業士会の指導のもと、20名の学生が参加し、「鯛ソーメン」「鯛のホイル焼き」「鯛の潮汁」を作りました。大半の学生たちは初めての鯛の三枚おろしに挑戦しました。

●グローバル化推進センターによる

「本学OGによる留学に関する 座談会」を開催

7月29日(金)、本学OGが来学し、在学中の協定校である慈済大学への交換留学の経験について在学生たちと意見交換を行った。留学を検討している在学生には良い座談会となった。

●現代文化学部主催

「尚綱大学で学ぶキャラと ストーリー2022」開催

9月17日(土)、九品寺キャンパスにおいて参加した女子中高生にキャラクターを作ってもらったワークショップを開催しました。キャラクターの姿や特徴、物語における役割、物語世界の設定など全て自分で作る経験は、現代日本の「キャラクター文化」を学ぶ良い機会となりました。

●約2年半ぶりに交換留学生の受け入れを再開

9月から約2年半ぶりに協定校の上海杉達学院（中国）から2名の学生を受け入れました。2名は現代文化学部にも所属し、半年間本学で勉学に励むこととなります。

●令和4年度「夏季キャリアガイダンス」開催について

9月20日（火）・22日（木）、オンラインによる「合同会社説明会（兼企業研究会）」及び「模擬面接講座」を開催しました。

●大学4号館第二調理実習室の改装

主に食物栄養学科と総合生活学科の学生が使用する第二調理実習室の改装工事を行い、9月に工事が完了し、後期授業から使用が可能となりました。学生たちには「とてもきれいになった。」「部屋全体が明るくなった。」などとても好評です。卒業されたOBの方々も本学に寄せられた際には是非足を運んでください。

●尚綱公開講座について

10月15日（土）、22日（土）の2日間、3年ぶりに尚綱公開講座を開催しました。「未来を切り開く消費者の力く持続可能な社会形成のために」のテーマで本学の教員が4講座を実施しました。受講者には大変好評のうちに終了しました。

●第9回学食レシピコンテスト開催について

「尚綱ガールズ 卵レシピコンテスト」のテーマでコンテストを開催し、219名の応募があり、グランプリ1点、優秀賞3点、入選5点のレシピが決まりました。11月7日（月）に表彰式があり、同月17日（木）からグランプリ及び優秀賞の4点について学食で提供されました。大学同窓会及び短大同窓会からのご協力により、例年であれば1食500円のところを今回400円で提供できることとなりました。同窓会の皆様には心より感謝申し上げます。

●尚綱祭について

11月26日（土）、第69回尚綱祭「く祭色兼美く」が九品寺キャンパスにおいて開催されました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者を学校関係者に限定して実施しました。なお、ホームカミングデーについては中止しました。

●現代文化学部主催 外国語スピーチコンテスト開催

本学ではグローバル社会で活躍する人材を育成に力を入れています。日ごろの外国語学習の成果を発揮する場を提供することを目的として、11月26日（土）、同コンテストを開催しました。総勢32名がエントリーし、いずれもとて

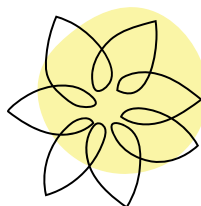
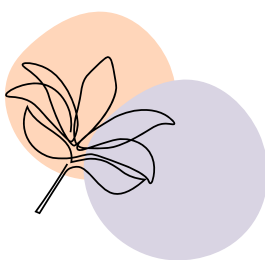
も表現豊かなスピーチを見せてくれました。

●令和4年度就職懇談会の開催について

九品寺キャンパスにおいて、12月6日（火）・7日（水）の2日間、オンラインを活用した就職懇談会を開催し、県内企業の人事担当者等との意見交換等を行いました。今後の学生に対する就職指導の参考となる様々な意見を伺うことができました。



外国語スピーチコンテスト



入学式